



自ら輝きつつ
仲間を照らし
未来を創る
「太陽の子」

きらめく 簗木

令和5年12月22日 文責 校長 福田 啓子



2学期が終わりました。(12月22日)

19日(火)の学級懇談会には、御多用の中、御参加いただきありがとうございました。さて、今日で77日間の2学期が終わりました。今学期も子供たちは、大きなけがや事故に遭わず過ごすことができました。感染症による学年閉鎖等もありませんでした。保護者の皆様の御協力のおかげと深く感謝しております。

終業式では、簗木小のキャッチフレーズ「自ら輝き、仲間を照らし、未来を創ろう」を基に2学期の振り返りを行いました。めあて達成に向け励んだ姿、仲間と協働し解決を目指した姿、簗木小閉校に向けた思いを表現した姿を紹介しました。どの学年も実り多い充実の2学期であったと感じました。先日の学級懇談会では、保護者の方からわが子の成長や良さを語っていただいた学年もあったと聞いております。今後も、佐賀県教育合言葉「ほめるから はじめる、はじまる。」を学校・地域・家庭で実践していきたいらと思ひます。

22日から冬休み。子供たちには新年を迎える準備として、「1年を振り返ろう」「自分がいつも使っている所や物をきれいにしよう」そして「笑う門には福来たる」この三つを実践して、新しい年を清々しい気持ちで迎えてほしいと思ひます。

今年1年、大変お世話になりました。皆様、よいお年をお迎えください。



お願い

1. タブレット使用について

冬休み期間中、全学年タブレットを持ち帰らせます。ドリルパーク、オクリンク、実践の録音・撮影、インターネットを使った情報収集など様々な活用に取り組んでほしいと思ひます。なお、使用にあたっては、昨日配布した「学習用タブレット端末活用のルール」を順守するよう、子供たちに御指導ください。特に、長時間の連続使用を控えることや、誹謗中傷するメッセージを送らないこと、許可なく撮影しないことなど、健康面や情報モラルに関わることは、実際に子供たちの使用の様子を見て指導していただければと思ひます。



2. 交通安全について

県内において、12月7日から18日までの間に、計4件の交通死亡事故が発生しています。これを受け、佐賀県では交通死亡事故多発警報が発令されました。冬季は日没時刻の早まりなどから、「夕暮れ時」に車両と歩行者の重大事故が多く発生する傾向にあります。外出の機会が増え、駐車場に車を停めた後降車するときに、周囲の状況を確認せず車両と接触する事故も心配されます。また、自転車を利用する際は、ヘルメットを着用すること、車道の左側(13歳未満は歩道を通行してもよい)を通行する、信号や一時停止を必ず守るようお声かけください。



3. 感染症予防について

外出先からもどったときの手洗い・うがい・消毒、体調が悪いときの外出自粛・マスク着用・検温・病院受診等、抵抗力をつけるための食事・睡眠・運動など、感染症予防に努めていただきますようお願いいたします。

